

第38回

藤里町交通安全町民大会

10月22日、総合開発センターにおいて、第38回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全功労者や交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、家庭・職場・地域から交通安全思想の普及に努め、交通ルールの遵守とマナーの向上に努めることなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれてくるもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、交通安全関係者や町民など、80名余が参加しました。

初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて佐々木副町長よりあいさつが述べられたあと、交通安全功労者と交通安全作品コンクール入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。

その後、浅利教育長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、続いて作文の部で最優秀賞を受賞した白井陽菜さんによる作文の朗読、能代警察署員による「交通安全講話」が行われ、参加者は交通安全の意識を高めました。

最後に藤里町交通安全母の会代表が大い宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

交通安全功労者

◇佐藤巧さん（荒町）

平成10年12月より二ツ井藤里地区交通安全協会藤里支部の理事に就任し、荒町地区を担当され、多年にわたって交通安全運動に尽力されています。

交通安全作品コンクール

【作文の部】

《最優秀賞》

◇白井 陽菜さん（藤里中学校1年）
「自分の命は自分で守るために」

《優秀賞》

◇市川 陽菜さん（藤里中学校1年）
「交通事故を防ぐために」

◇菊池 愛奈さん（藤里中学校2年）
「町民の努力を町の発展に生かす」

《入選》

◇村岡 愛心さん（藤里小学校6年）
「安心して暮らせる藤里町」

◇荒川 里聖さん（藤里中学校1年）
「交通事故ゼロのために」

◇丑沢 輝さん（藤里中学校1年）
「交通事故防止のために」

◇丑沢 栄さん（藤里中学校2年）
「平和な町にするために」

◇小森 葵さん（藤里中学校3年）
「スローガンから考えたこと」

【ポスターの部】

《最優秀賞》

◇水戸 芹奈さん（藤里中学校1年）
「あなたがしたこと 違反です」

《優秀賞》

◇小山 和さん（藤里小学校6年）
「それやめて！歩きスマホは事故のもと」

◇市川 陽菜さん（藤里中学校1年）
「急がずに マナーとゆとりで交通安全」

《入選》

◇佃 碧馬さん（藤里小学校1年）
「とびだしきけん」

◇山田 翔子さん（藤里小学校3年）
「ヘルメットは命を守る」

◇佐々木 音流さん（藤里小学校4年）
「坂道だ！スピード落とせ！」

◇淡路 結菜さん（藤里小学校6年）
「自分の命は自分で守ろう」

◇丑沢 輝さん（藤里中学校1年）
「飲酒したら 絶対しない 運転を」

作品紹介

最優秀賞

『自分の命は自分で守るために』



白井陽菜さん

「お母さん、いつてきまーす。」「いつてらっしゃい。気をつけてね。」「朝、家を出るときの会話は毎日同じです。」「気をつけてね」という言葉はもう小学生のころからずっと聞いている言葉です。そこで、「気を付ける」という言葉を意識して過ごしてみると、日常生活から過去にあった危険な出来事を思い出すことができました。

一つ目は、車や自転車のスピードです。車では、「ここは〇キロメートルで走って下さい」という標識があるにもかかわらず猛スピードで走ったり、一時停止をしないで、猛スピードのまま道を曲がっていつたりするところを何回も目撃したことがあります。自転車では、横断歩道を渡るときに、信号が青で止まらないまま、一定のスピードで渡っていたり、大人数でスピードを出して広がりながら走っていたりすると、目を撃しました。これらのことをひまえて考えると、スピード違反はとても大きな事故を招いてしまうことが考えられます。たまたま、そこに人がいなかっただけで、いつ事故になってもおかしくありません。いつもは人が